

2024

Caring for the Future Foundation Japan Annual Report



認定NPO法人CFFジャパン 

2024年度 年次レポート

2024年5月～2025年4月

もくじ

● 代表理事挨拶.....	2
● 青年育成事業、教育事業.....	3
● 海外子ども支援.....	4
● 地域事業.....	5
● 2024年度会計報告.....	6
● 2025年度事業計画.....	7

代表理事挨拶

2024年度も、CFFジャパン事業への多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで本年度は、インターローカルの事業化（主に能登支援）、カンボジアスタディツアーやスタディこどもキャンプの開催のほか、箕面こどもの森学園中等部の現地研修受け入れなど、新たなプログラムに挑戦することができました。

CFFインターナショナルとの協働事業としては、通常のキャンプ事業に加え、新たな取り組みとして、キャンププログラムの開発とディレクター育成のために、3か国のキャンプディレクターチームが毎月Zoomミーティングを開き、プログラム開発に関する学びと研鑽を進めています。また国内では、過去のリーダー経験者による拡大版ディレクターミーティングを通して、インターナショナルが目指すディレクター、リーダー育成の仕組みと、現状行われている国内リーダー育成の課題や改善策等について話し合いを重ねました。世田谷地域で展開している「子育てひろば」や「まなカフェ」も順調に利用者が増え、地域の子どもたちの居場所や自己実現する場として、また子育て中のご家族の交流・支援の場として意義ある活動を維持することができています。

以上の取り組みは、ひとえに皆様のご理解、ご支援があつてこそ実現できたものです。改めて心より感謝申し上げます。

2025年は東京でインターナショナルコンベンションが行われることを機に、年次レポートに記載した重点課題に取り組みつつ、経営の安定とプログラムのさらなる充実を図って参ります。

2026年にはCFFジャパン設立30周年を迎えます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



安部 浩之

青年育成事業



海外ワークキャンプ・スタディツアー (フィリピン/マレーシア/カンボジア)

コロナ禍を経てプログラム再開後、参加者数は回復傾向にあります。今年度は新規プログラム（フィリピンスタディこどもキャンプ・カンボジアスタディツアー）にも挑戦し、高校生が参加しやすいプログラムなど、社会的ニーズに合わせたプログラム開発にも取り組みました。

2024年夏シーズン・2025年春シーズン合わせて、13名の学生リーダーズが202名の青年へ海外ボランティアプログラムを届けました。



▲フィリピンスタディこどもキャンプ
子どもたちもキャンプに参加！



▲カンボジアスタディツアー
小学生とのアクティビティ



▲座学での学び
「子どもが健全に育つために必要なことは？」

ボルネオ島インターン留学

合計8名のインターンを受け入れ、子ども福祉に関する直接支援や農業体験等を通して、SDGsと5ヶアがどのように実践されているのかを学べるプログラムを実施しました。

自ら課題や自分にできることを見出し、個別面接を通して達成目標を設定。主体的な学びに伴走しました。



▲子どもたちと農業活動



教育事業

茨城県教育委員会での教員向けオンライン研修、順天高校と明星大学のマレーシアフィールドワークを継続して実施しました。2024年度は箕面こどもの森学園中等部のマレーシア研修旅行を受託し、CFF初となる中学生対象のプログラムを実施しました。

新規の協働校を増やしていくために学校向けのパンフレットを作成したほか、今後はホームページの作成も計画しています。



▲学校向けのパンフレット（表紙）



▲箕面こどもの森学園のツアー

海外こども支援



児童養護施設 運営支援

サポーター寄付を財源に、各国CFFと共に実施している「協働プロジェクト」において、下記の事業支援を行いました。



フィリピン

入所児童に向けた有機農業や水耕栽培を通じた環境教育プロジェクト



マレーシア

入所児童に対する英語・数学の学習サポートと、多様な学習ニーズに応えるEラーニング導入事業



地域の子ども支援（マレーシア）

無国籍集落に訪問、アドバイス等の支援を3回実施しました。また、退所児童で措置が切れ、地域に戻った貧困地域の子ども3名と、新規入所児童6名の訪問調査（アセスメント、アドバイスや相談等）を実施しました。

使途指定寄付やサポーター寄付を財源に現地団体へ委託して無国籍児童を支援してきましたが、同団体の活動拠点の移転と共に、当該事業の自立性の向上が確認できたため、2024年度で本事業を終了しました。



▲現地団体に生活用品を寄贈

CFFインターナショナル

海外プログラムの質の向上と資金調達体制の強化、並びに現地法人が運営する児童養護施設における子どもたちの福祉向上を目的として、3つの委員会（①ワークキャンプ研究開発、②資金調達、③子ども福祉）を設立し、CFFジャパンの理事4名が各委員会に所属しました。フィリピン本部を中心に、日本とマレーシアにも事務局機能を置き、3カ国に跨ってネットワーク型で運営できる体制に整えました。

CFFインターナショナルと協働で開始したカンボジア事業では、現地調査のため職員を派遣するほか、ディレクター研修の協働実施と参加者の派遣を行うことができました。



▲カンボジアにてホームステイの候補先を視察

地域事業

子育てひろば

2024年度世田谷まちづくりファンド助成事業

地元の周知が徐々に広がり、近隣に住む親子が多く来所してくれるようになりました。転入間もない親子が地域情報を得たり、ひろばで顔見知りになることで日常的な繋がりに発展するなど、地域の交流拠点として少しずつ機能するようになってきました。

4月より開催場所を「まなカフェ」と同じコミュニティサロンに移し、より地域交流がしやすい場となったことで利用者也増加しています。子どもと家庭に寄り添いながら、来所される皆さんと共に作る居場所を目指しています。

開催日数：42日
来所親子のべ234組



▲ひろばとまなカフェの開催場所
コーシャハイム千歳烏山



▲ひろばの来所親子とまなカフェの
小学生が交流する場にも♪



▲ボランティアの皆さんが企画したクリスマス会の
ジェスチャーゲーム

まなカフェ

子どもの学び場運営スタートアップ事業
2024年度東急子ども応援プログラム助成事業

活動4年目となり、場を提供されてきた受益者（子どもと若者）が、自ら場をつくる担い手に育っています。多様な背景やさまざまな困難を抱えている子どもたちや若者たちが混ざり合い、共に育ち合いながら、個々が自分らしくあれる居場所を自分たちで作る素地ができてきました。

子育てひろばと活動の場を共にするようになったことで、地域と共に多世代が育ち合っていく場作りへと発展させていきます。

平均利用人数：13名 登録ボランティア：29名

インターローカル

中央共同募金会「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」、日本財団「令和6年能登半島地震に関わる支援活動」の助成を受け、2024年度は13回、のべ119名を被災地（七尾市中島町）へボランティア派遣しました。

顔の見える関係を礎にした支援の継続により、参加した青年と地域住民が育ち合う場づくり、さらに他地域への展開の可能性も見出すことができました。



▲地震で倒れた石垣の
撤去作業



石川県
七尾市



▲活動拠点で地域の方との
お茶会も

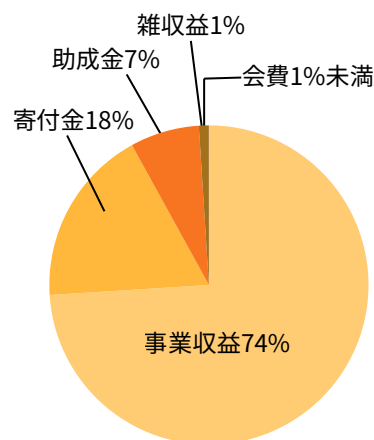
2024年度会計報告

(2024年5月1日～2025年4月30日)

決算書・事業報告書は
ホームページからご覧いただけます
<https://cffjapan.org/about/report>

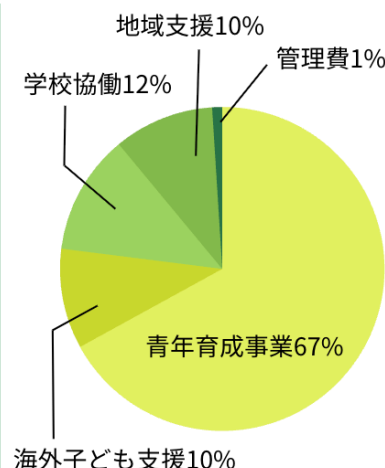
経常収益の部

事業収益 ・海外ボランティアプログラム ・学校協働事業 等	32,044,899円
寄付金 <small>*2025/4/30現在</small> ・CFFサポーター（継続寄付者）331名* CFFマレーシア、一般寄付、 インターローカル 等	8,030,642円
助成金	3,189,000円
正会員費	130,000円
その他収益（雑収益、利息）	615,715円
当期収益合計	44,010,256円



経常費用の部

ワークキャンプ等による青年育成事業	31,405,388円
海外子ども支援	4,705,073円
学校協働事業	5,604,226円
地域支援事業	4,577,294円
管理費	446,287円
当期経常費用	46,738,268円



正味財産

税引前当期正味財産増減額	△5,793,059円
法人税等	70,000円
当期正味財産増減額	△2,798,012円
前期繰越正味財産額	10,894,082円
次期繰越正味財産額	8,096,070円

今年度支払い寄付・助成額

青年育成事業（海外プログラム参加費補助）	1,000,000円
海外子ども支援（フィリピン・マレーシア 協働 プロジェクト）	1,740,000円
CFFマレーシア支援	742,990円
合計	3,482,990円

2025年度の事業方針

団体設立30周年を目前に控え、これまでの歩みの振り返りと共に団体として目指す未来を改めて確認します。「子どもと青年が共に育ちあい、その誰もが未来に希望を持てる社会を築く」というミッションに基づき、団体に関わる一人ひとりがそのあり方を追求し、体現していく組織を目指します。

昨年度に引き続き、「海外」「教育」「地域」「子ども」の各分野で事業を推進するとともに、関連団体や企業とのネットワーク構築、協働の可能性を積極的に模索していきます。

また、厳しい財務状況を打開するため、資金調達を含めた運営体制の抜本的な強化に取り組み、持続可能な組織運営の基盤を確立します。

重点取り組み事項

- ディレクター、リーダー育成の見直しと評価、指針の作成
- インターローカル事業の事業化の可能性検討および体制基盤の整備
- 団体設立30周年に向けたワーキンググループ結成と活動推進
- 各分野の中長期計画と目標達成に向けた具体的なロードマップの策定
- 財政基盤の強化



▲24夏リーダーズ・Evans Knot



▲25春リーダーズ・にじいろ



支援する

●ハチドリ電力

CO2ゼロの実質自然エネルギー100%プランのみを販売する電力サービスです。地球にやさしい電気だけでなく、社会問題に取り組むNPOやNGOにお金が回る仕組みを提供しています。CFFを支援先に指定いただくと、ご自宅の毎月の電気代の1%がCFFジャパンに寄付されます。

hachidori-denryoku.jp/list/cff/



●CFFサポーター

世界の子どもたちへの支援や青年の育成を含めた、CFFジャパンの取り組み全般をご支援いただくマンスリーサポーター制度です。支援を必要とする子どもたちの将来、子どもたちと共に育ち合う青年たち、またそれらを支えるCFFジャパンの活動を継続的に応援いただけます。

cffjapan.org/support/supporter



参加する

●海外ボランティアプログラム

海外ボランティアプログラムに関するお申し込み・お問い合わせはこちら

(ワークキャンプ、スタディツアー、スタディこどもキャンプ等)

<https://cffjapan.org/program>



●学校協働・海外研修旅行

中学・高校・大学生を対象に、学びと体験を深める海外研修旅行を実施します。現地での交流や課題探究を通じ、視野を広げる貴重な機会です。

単位認定の授業としての受け入れも可能です。詳細・お問い合わせはこちら

cffjapan.org/education/collaborative-class



●ボルネオ島インターン留学

CFFマレーシアが運営する児童養護施設「子どもの家」に滞在し、国際協力やSDGsなど5ケア*を実践しながら学べるインターンプログラム。

お申し込み・お問い合わせはこちら

<https://cffjapan.org/program/intern>



*5ケア＝ 自分、他者、環境、社会、未来をケアすること



SNS / LINE

●各SNS情報

下記の詳しいサイト、各SNSへのアクセスはこちらから

<https://lit.link/cffjapan>



- ・海外ボランティアプログラム
- ・ボルネオ島インターン留学
- ・Instagram、X、YouTube、TikTok

●CFFジャパン公式LINE

海外ボランティアプログラムの説明会申し込み、プログラム資料のダウンロードはこちらから



認定NPO法人CFFジャパン

〒157-0064 東京都世田谷区給田3-34-3 山喜荘101

TEL : 03-6279-5096 FAX : 03-6279-5097

Email : info@cffjapan.org HP : <https://cffjapan.org/>